PATHIE SATING

この企画では、「ヒト・モノ・コト」を繋げるため、私 (地域おこし協力隊:川口)が、鶴田町で活動する「人材= 人財」(個人・企業・団体)をピックアップして「よそ者」 目線で人物像を掘り下げ、不定期でご紹介します!

今回は埼玉から鶴田町に移住してきた藤田直樹さんにお話を聞いてきました。藤田さんは僕が協力隊に着任した時から、鶴田町に移住を考えていました。鶴田町で同級生と餃子屋さんを開業することを考えていたので、餃子の試食会を開催するなど僕も移住をサポートしてきました。そんな藤田さんも移住して約1年半。鶴田町でどんなことを感じ過ごしているのかお聞きしてみました。

「えいや!」と一歩踏み出す

現在のお仕事を教えてください。

鶴田町で水餃子とお茶のお店「回」で店長をしています。 中華料理のコックなのですが、今は餃子を握っています。 餃子を握るだけでなく、たまにご注文いただく中華お弁当 を作るのが楽しみです。お祭りやイベントでは野外出店す ることもあります。

鶴田町に移住するときの気持ちを教えてください。

同級生に商売で誘われたのがきっかけでした。仕事のことを考えると、人がたくさんいる関東で生活していたので、「お客さんいるのかな、餃子屋さん大丈夫かな」という不安はもちろんありました。生活面でいうと、移住する前に鶴田町には一度来たことがあったのですが、その時は冬の雪がすごい日だったので、生活をイメージすることはあまりできなかったんですよね。仕事も生活も"何があるのかわからないけど、とりあえず自然を楽しめるといいな"という気持ちで、「えいや!」と飛び込んでみるような感覚でした。

人との関わりが生活に彩りを加える

鶴田町の住み心地について教えてください。

移住を決めた時は多少不安もありましたが、住んでみるとやっていけそうだなと思いました。たまにニュースでみるような田舎特有のよそ者に対する排他的なものは全然感じませんでした。雪は大変ですけど、スノーボードができるのはいいですよね。

僕は釣りやバーベキューなどアウトドアが好きなので、 休みの日は山や海に行くことが多いですね。今の時期だと 山菜を採りにいくのも楽しみです。埼玉にいた時は、ラー メンや中華料理を食べ歩くのが休みの過ごし方だったので



△自ら採ったタケノコを調理するようす たです。

移住者として大変だったことを教えてください。

僕は知り合いがいて移住してきたので、生活では頼る人がいました。ですが休みの過ごし方があまり合わず、休日を持て余していました。車で山や海に行ってみるのですが、釣りをする場所や山菜を採っていい場所がわからなくて。飲みに行くにも店もわからずで。最近は少しずつわかってきたので一人でも遊びに行けるんですが、来たばかりのこ



ろは楽しみ方がわからず家で悶々としていることが多かったです。僕は仕事と休みのメリハリをしっかりしたいので、休みの日を充実させられるようになるまでは大変でした。これから移住者を迎え入れるときは、"趣味の合う知り合い"みたいな人が早くに見つかると鶴田町の生活に馴染みやすいんじゃないかな、と思います。

これから鶴田町でどのように過ごしていきたいなどの 願望があれば教えてください。

人と関わることが好きなので、お店にお客さんがきて、 話ができるとすごくうれしいんです。それだけではないで

すけど知り合いが少しずつ増えて、楽と思っと思ってきるといいなと思った。ららピーとせんが、生が海を近くにありませんが、自然を満喫して、知りごさればいいなと考えています。



△餃子の仕込みを行う藤田さん

編集後記

僕は協力隊の時間外に餃子屋さんで藤田さんと一緒に仕事をする機会があります。人懐っこい笑顔と熱い気持ちが持ち味で、おいしいものを作って人に食べてもらうのが大好きな人です。シャイな部分もあるのですが、一度仲良くなると義理堅く世話を焼く一面もあります。日本酒と中華料理と魚が好きな藤田さん、このまま鶴田町に馴染んで、楽しく生活できるようサポートしていければと考えています。また、藤田さんだけでなく、移住してきた人たちの体験をもとに、これから鶴田町に移住してくる人が地域に馴染みやすいサポート体制を整えていければ。とも考えています。『つるた町民ライブラリー』も僕が記事を書けるのはあとわずかとなりました。読んでくださっている方が最後まで楽しんでもらえるように頑張りますので、次回もお楽しみに。

(筆:川口翔大)



水餃子とお茶のお店 回

場所 鶴田町鶴田生松89 **電話** 0173-26-7226 **営業時間** 11:00~19:00 **定休日** 水曜日

